



ひな い 3月

発行/大館市立比内公民館 大館市比内町扇田字庚申袋8 Tel 43-7141 fax 55-3652

2月1日(日)比内公民館で冬の音楽鑑賞会を開催しました。昨年に続く2回目の開催で、比内中学校吹奏楽部など4団体が出演し、約70人の来場者が音楽を楽しみました。

鑑賞会は3部構成で行われ、第1部は比内中学校吹奏楽部と釈迦内ハーモニックバンド部、第2部はハーモニカASBたんぽぽ、第3部にはメビヨン・サクソフォン・クワルテットが出演しました。

初出演のハーモニカASBたんぽぽは、デュオ、独奏、アンサンブルで曲を披露。クラシック、出船夜想曲やアニメソングなどを演奏しました。

今年は大雪で、朝から晩まで除雪作業に追われる日々ですが、温かい音楽が来場者の心に届いたのではないのでしょうか。やっぱり人生に音楽は必要ですね！



第2回 冬の音楽鑑賞会

比内中学校吹奏楽部と釈迦内ハーモニックバンド部



ハーモニカASBたんぽぽ



メビヨン サクソフォン クワルテット

西館まちづくり協議会



ふれあいまつり

2月15日(日)西館まちづくり協議会が主催する「ふれあいまつり」が開催されました。会場の構造改善センター前には高さ3.5mの「かまくら」や、長さ約10mのスロープが設置され、そり遊びの子どもたちが歓声を上げて楽しんでいました。

餅つきが始まると、体験したい子どもたちが長蛇の列をつくり、たくさんの声援を受けて杵を振り下ろします。さっそく出来上がったお餅が振舞われ、大人も子どもも笑顔でほおばっていました。

テントでは焼き鳥や野菜の販売、会場内には園児や児童の作品展示、うどんやケーキ、綿あめの販売もあり、にぎわっていました。

子どもは地域社会の未来そのもの。子どもたちの笑顔が主催者やお手伝いの大人たちの原動力になっているんですね。

雪中田植え&なしっこ



▲雪原を田圃に見立てて、稲わらを植える雪中田植え

◀「実イならねえと切ってしまうぞ」と迫る「なしっこ」

三岳地域の小正月行事「雪中田植え」が、2月11日、三岳分館のグラウンドで行われました。1.8畝四方にしめ縄を張り、田植え人の畠山市右衛門さんと補助役の本間孝一さんが雪原に稲わら16束を植え、参列した住民約15名が五穀豊穡と無病息災を祈りました。

続いて生活改善センターに会場を移し、豊作を祈る「なしっこ」が行われました。ミズキの枝に紅白の餅を付けて梅に見立て、福俵に松などと飾り、天井には餅で作った稲穂や野菜に見立てた枝を配置。参加住民たちが見守る中、ナタを持った畠山さんが登場。木に向かって「実なるか、ならねば切るぞ」と問いかけると、会場からは「なる、なる」と声がかかります。「なるなら切らねえ」とナタをしまうと、会場からはたくさんの笑い声が沸き上がり、豊作を祈りました。

22日の作占いでは、刈り取った稲が良い具合に傾いていることから「豊作」のお告げでした。

予告

公民館

懐かしの

70・80年代ほか

ディスコヒットパレード

DISCO

3月15日(日)

14:00 開場 14:30 開始 会場:比内公民館

入場無料
仮装大歓迎

- ▶ ディスコサウンドで、心と体を揺らしましょう。
- ▶ 公民館ディスコは、地域や世代を超えた交流の場として開催します！
- ▶ 踊りの得意ではないかたには心強い助っ人「ディスコダンスの映像」が登場。
- ▶ 大画面の映像にあわせ、おもいっきりはじけましょう！！
- ▶ 栄養や水分を補給するコーナーもあります。
- ▶ ライブハウス風に、相席&ダンスフロアで交流しましょう。

※主催者以外に会場内の撮影はご遠慮いただきますので、安心してイベントをお楽しみください。

編集後記

あんなにあった雪が、目に見えて少なくなってきました。「本当に春になると消えるのかしら？」と思った雪ですが、春の力は偉大ですね！まだまだ雪は分厚いですが、堅雪の上を歩くと、最初に樹木の周りの雪が溶けて、地面が顔を出してきます。その周辺で気の早い草やフキノトウが芽吹いているのを見ると、「やっと春がきたなあ」と感じるのが雪国の人々の感覚ではないだろうか？雪の無いところの人には分からないだろうなあ、と妙な優越感を持ちます。いよいよ雪が溶けたら渓流の魚や山菜が私を待っています。早く準備をしなければと、今から気はやりませう。

(若)